

# とちぎ行革プランの進捗状況【25年度】(概要版)

計画全体の進捗状況としては、概ね順調に推移

## ◆取組項目毎の達成状況◆

全取組項目数：95項目

目的を達成 (◎) :	6項目
順調に推移 (○) :	82項目
継続検討等 (△) :	7項目

I 県民とともに地域を創る行政の推進

○:20項目 △:5項目

II 県民に開かれた行政の推進

○:20項目 △:1項目

III 自律的な財政基盤の確立

◎:2項目 ○:20項目

IV スリムで活力ある執行体制の確立

◎:4項目 ○:22項目 △:1項目

# I 《協働》県民とともに地域を創る行政の推進

一部の取組で課題有り



## ①市町村への権限移譲を積極的に推進しました

⇒25年11月に「栃木県権限移譲実施計画」を改訂 ※26年4月時点の権限移譲法令項目数:119法令 1,993項目(条例移譲のみ)

## ②アウトソーシングを推進しました

⇒総務事務センターの業務のうち、提出書類の受付及び手当、旅費等の一次審査等の定型的な業務について、民間事業者からの派遣職員で対応

## ③民間活力を活用するため、指定管理者制度による管理運営等を行いました

⇒25年度は、栃木県総合文化センターなど33施設において募集・選定 ※26年4月1日現在の指定管理者制度導入施設数:42施設

## ④施設整備への民間活力の活用を図りました

⇒平成25年度に全国初の取組として寺山ダムでの「ダムESCO事業」を開始し、塩原ダムで平成26年度から導入する事業者を決定

## ⑤多様な主体と県との協働事業を推進しました

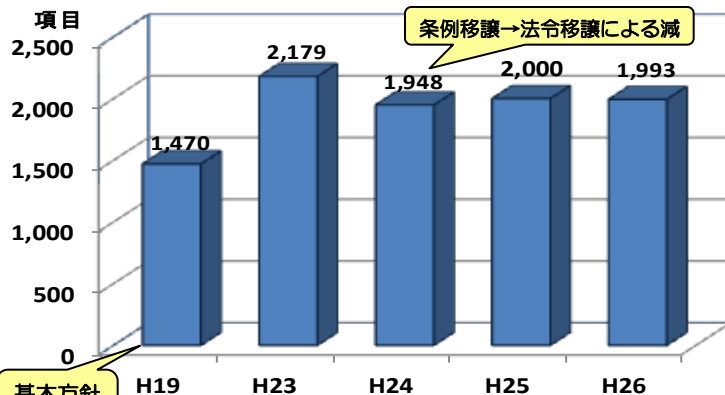
⇒大学コンソーシアムとちぎにおいて、県内の高等教育機関との連携による「とちぎグローバル人材育成事業」の実施を検討(平成26年度から実施)

## ⑥県有施設のあり方見直しを実施しました

⇒県立高校の再編整備を行い、黒磯南高校(総合学科)が開校

【課題】一部の県有施設で売却・移管協議が進んでいない

市町村への権限移譲項目(条例によるもの)



基本方針  
策定時



とちぎグローバル人材育成プログラム キックオフ講演会の様子

(H26.7.5)

## Ⅱ《透明》県民に開かれた行政の推進

概ね順調に取り組んでいる



### ①重点戦略マネジメントを実施しました

⇒「新とちぎ元気プラン」の着実な推進を図るための重点戦略マネジメントを実施

### ②県政情報を積極的に発信するとともに、県民参加の推進を図りました

⇒県の魅力・実力紹介のページや、観光パンフレットのウェブブック版を新たに掲載

⇒とちぎ元気フォーラムを開催（17年度から継続実施）

（25年度は地域版、青年版、大学生版、高校生版に加え、新たにテーマ版を設け、合わせて計11回実施）

### ③手続や事務処理の公正を確保するとともに、透明性の向上にも努めました

⇒公共工事等以外の契約について、件名や金額等の契約締結状況を県ホームページで公表

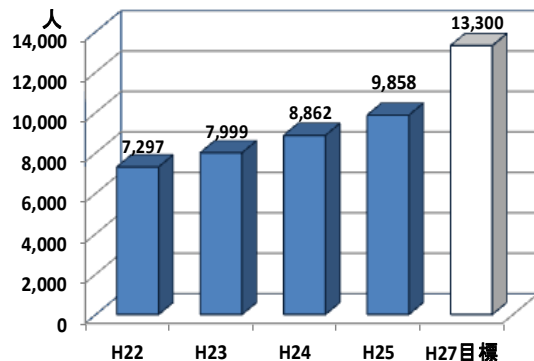
### ④ICTの活用等による手続の改善を図りました

⇒「とちぎICT推進プラン」の行動計画である25年度版「とちぎICT推進アクションプラン」を作成し、県ホームページで公表

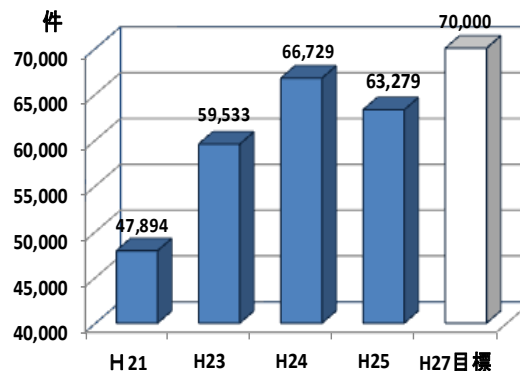
### ⑤県民サービスの向上を図りました

⇒県民サービス向上運動を本格実施し、175の所属において、209の取組を実施

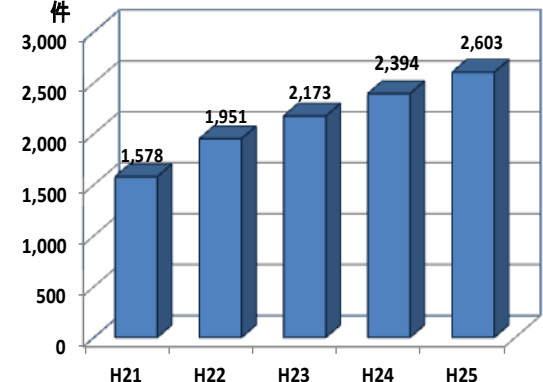
元気フォーラム参加者累計



申請・届出等手続きのオンライン利用件数



県民サービス向上運動取組件数累計



## Ⅲ《自律》自律的な財政基盤の確立

概ね順調に取り組んでいる



### ① 自律的な財政運営に向けた取組を推進しました

⇒平成26年度当初予算において、財源不足額を実質収支の範囲内に収め、収支均衡予算を編成

### ② 行政コスト削減のための取組を推進しました

⇒予算額を計上せず実施する「ゼロ予算事業」を実施(25年度実績:182件うち新規23件)

⇒県単補助金の縮減・合理化(25年度当初予算で前年度に比べて約1億円削減)

### ③ 安定した税収入等を確保する取組を実施しました

⇒宇都宮、栃木、矢板の3県税事務所に地方税協働徴収担当を設置し、市町から徴取引継を受けて滞納整理を実施

⇒広告による収入確保

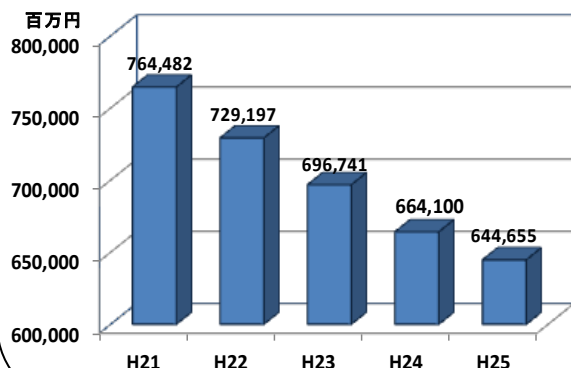
⇒未利用財産の売却や公募による貸付を実施

### ④ 公営企業の自立経営に向けた取組を推進しました

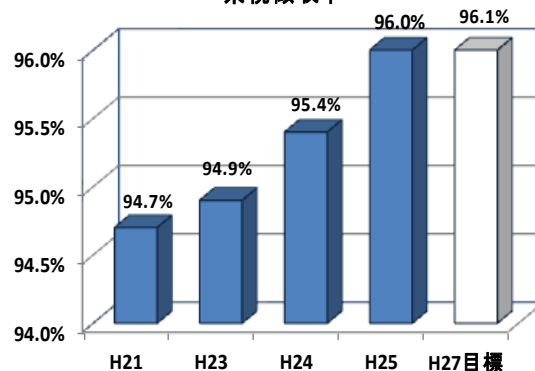
⇒企業局経営計画に基づく効率的な経営を実施

⇒県立3病院について、改革プラン(21~25年度(2年間延長))の目標達成に向け、経営全般にわたる経営改善を実施

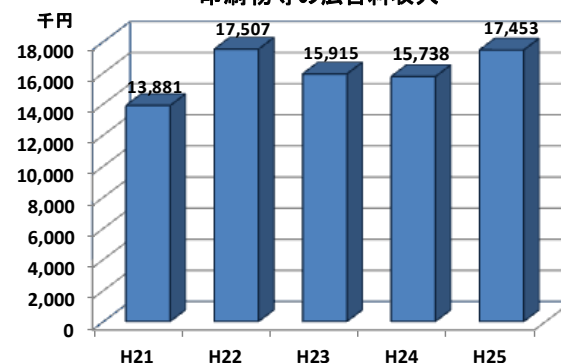
県債残高(臨時財政対策債を除く)



県税徴収率



印刷物等の広告料収入



# IV《原動力》スリムで活力ある執行体制の確立

概ね順調に取り組んでいる 

## ①効果的で効率的な組織の整備を行いました

- ⇒医療政策の高度化・専門化に対応するため、医事厚生課を改編し、「医療政策課」を設置
- ⇒産業政策の企画立案や国の成長戦略に呼応した政策形成等の機能を強化するため、産業政策課内に「産業戦略推進室」を設置 (26年4月～)

## ②適正な定員管理を実施しました

- ⇒平成28年4月1日を目標とした定員管理計画に基づく適正な職員配置・管理の実施

【定員管理計画】

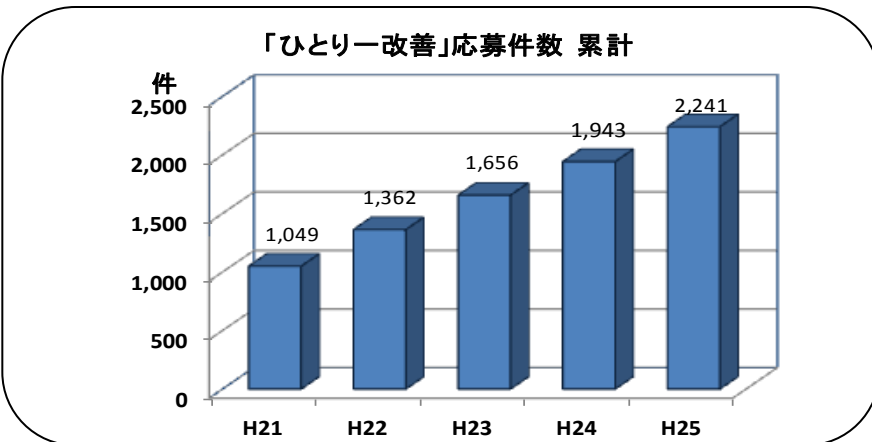
	基準年 H25. 4. 1①	目標年 H28. 4. 1②	H25実績 H26. 4. 1③	削減目標 ②-①	削減実績 ③-①
一般行政部門	4,406	4,300	4,328	▲ 106	▲ 78

## ③意欲に満ちた人材の育成を推進するとともに人事評価システムを本格導入しました

- ⇒人材の育成を目的とした職員派遣の実施 (H26: 国、他県、民間企業等へ15名派遣)
- ⇒人事評価システムの評価結果を人事配置に活用するとともに、職員給与に反映

## ④事務処理の効率化や事務の改善を図りました

- ⇒職員総務課内に総務事務室(通称:総務事務センター)を設置し、システム開発やアウトソーシング等の体制整備を実施 平成26年1月から一部稼動(手当認定業務)し、平成26年4月から全面稼動
- ⇒職員提案制度である「ひとりー改善」を実施(25年度応募総数:298件)



総務事務センター(通称)の様子